



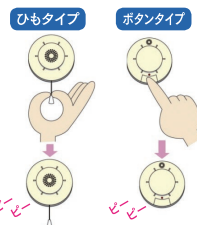
10. 家庭での火災予防

火災を防ぐには、どんなことに気をつければよいのか見てみよう。

いち早く火災を発見するために！

住宅用火災警報器を寝室や台所などにつけなければなりません。

「いざ！」という時にきちんと働くように、月に1回テストボタンを押すか、ひもを引いて警報音がなるか確かめよう！また、住宅用火災警報器の本体は、センサーなどの寿命により交換が必要です。概ね10年を目安に、新しい住宅用火災警報器に交換しましょう。



たばこ火災を防ぐために！

寝たばこはしない。
たばこの火は必ず消す。

火が残っている吸いがらをごみ箱に捨てたり、寝たばこをして火災になっています。たばこの火は、すぐにも燃え広がらないのですが、人がいなくなった後に火災になることがあります。



花火は、そばに水を用意しておとと一緒に遊ぶこと。



火遊びは絶対にしない！

ライターで遊んでいるうちにほかのものに燃え移って火災になっています。花火で遊ぶ時も、ルールを守らないと火災やケガの原因になります。



ごみは決められた日の朝に決められた場所に出すこと。



ストーブ火災を防ぐために！

ストーブの上に洗濯物を干さない、カーテンなど燃えやすいものを近づけない。

ストーブ火災の多くは、使っている人の不注意から起きています。ストーブの上に干された洗濯物が落ちたり、寝ている時に布団がストーブに触れたりして火災になっています。



電気火災を防ぐために！

電気コードを重いものの下敷きにしない。

家具の下敷きになったコードや長い間使われて古くなったコードの線が切れて、火花が出ることにより火災になることがあります。



こんろ火災を防ぐために！

こんろ使用中はその場を離れない。

こんろ火災の半数以上が天ぷら油からの火災です。こんろを使っている最中に電話に出たり、テレビを見たりしているうちに火災になっています。



放火を防ぐために！

家の周りには燃えやすいものを置かない。

放火は、人目につかない暗い場所で行われています。新聞やダンボールなどの燃えやすいものは家の周りに置かないようにしましょう。

※放火は犯罪です。絶対にやめましょう。

